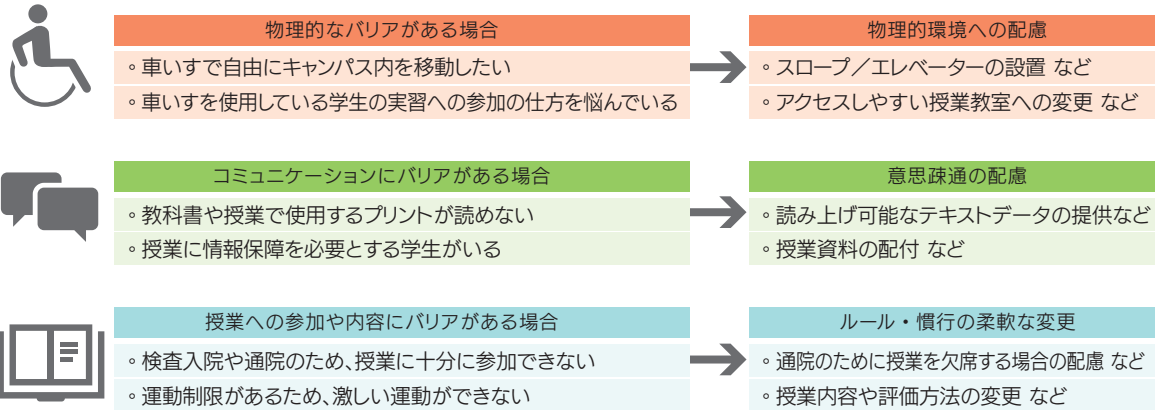


修学・就労機会の保障

大学における修学・就労上の配慮

インクルージョン支援推進室では、障害（慢性疾患・難病を含む）のある学生・教職員が、修学・就労において十分に個性と能力が発揮できるよう、合理的配慮に関する相談を受け付けています。



学内外連携

九州・沖縄地区 障害者支援に関する大学間連携情報交換会

本情報交換会では九州地区の高等教育機関における障害者支援体制の構築を目的のもと、2014年から年1回、九州・沖縄地区の国立大学が主体となって、各大学の支援体制に関する情報共有や障害者支援に携わる学生を対象とした支援スキルの講習会、情報交換会などを開催しています。

発達障害のある生徒、ろう・難聴の生徒を対象としたオープンキャンパス（キャンパススイッチ）

当室では、発達障害の診断がある高校生等を対象にオープンキャンパスを開催しています。本オープンキャンパスでは、アクティブラーニング（グループ活動等）を用いた模擬授業の体験や時間割作成体験、当事者学生との座談会などを実施しています。

地域との連携

Inclusion Qdai-net（IQ ネット）

福岡市教育委員会との連携のもと、大学等への進学を目指す発達障害の診断がある中高生等を対象とした移行支援事業（IQ ネット）を行っています。発達障害の診断がある子ども達が中等教育機関（中学校・高校）から高等教育機関（大学等）へスムーズに移行するため、高等教育機関に在籍する発達障害学生の多くが直面する困難さに対して、より早い段階からアプローチを行います。活動の中では、子ども達の得意なことを伸ばす方法（Progress）や、苦手なことへの対処法（Challenge）などを本学の教員や九大生と一緒に考え、自分自身の理解を深めていきます（Self）。

IQ ネットの柱

Progress

～得意を伸ばす～

- 個性を発見する
- 興味のある分野の専門的知識に触れる

Challenge

～苦手を補う～

- 大学の授業形式（アクティブラーニング）を体験する
- 話し合いやグループワークを通して主体的に学ぶ

Self

～自分を知る～

- 得意・不得意を知る
- 大学のことを知る

いろいろプロジェクト

本学では福岡市教育委員会等との連携のもと、地域社会における障害の理解啓発を行うことや次世代の共生社会の担い手となる人材の育成を目的とし、地域小・中・高校の児童・生徒を対象に知識と体験の両面からインクルーシブ理解を促すプログラムを実施しています。

学生支援のための学外支援ネットワーク会議

Partnership with Local communities to Qshu. univ. (PaLS-Q)

学生の修学・生活・就労に関わる課題を地域の行政、福祉、医療機関とともに検討し、解決するための支援ネットワーク会議を開催（年3回）しています。